



吉野 美香 議員

2回目の一般質問
またまた緊張しました

問

高齢者ハイヤー事業と地域交通の課題は

町長

庁内協議を進めていきたい

利用者からは好評

問 高齢者ハイヤー利用サービスの利用者数、利用回数、および事業費の推移は。

町長 令和元年度から4年度まで、どの点においても増えている。

問 利用券一枚で同乗も可。対象年齢に満たない若い人を途中で降ろすことも可。うれしい設定ではあるが、このことにより事業費が多くなっているのでは。

町長 利用の目的からいうと、75歳以上の足の確保という事業なので、拡大解釈にならない範囲で利用していただき

たい。

問 対象年齢を引き下げ、利用させてほしいと多くの町民の声を耳にするが、どう考えるのか。また課題はあるのか。

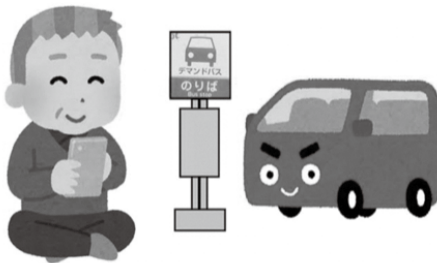
町長 利用者の年齢層は80歳から84歳が一番多く、運転免許自主返納を検討する平均年齢は道東圏で81・1歳となつているので、今のところ対象年齢引き下げの予定はない。

しかし、75歳未満でも、各種事業に該当せず、身体的な理由などで移動に関して日常生活に不便を感じている方の存在が想定される。どのような支援が必要であるのか、庁内協議を進めていきたい。

地域交通について

問 地域住民の生活維持に必要な足の確保としてデマンド交通があるが、訓子府町でも今後検討してはどうか。

町長 実は以前デマンド交通の実証実験を実施したが、非常に低調な結果に終わってしまった。無人のデマンドバスを巡行している地域などがあるので、それらの実証実験の情報も聞きながら研究していきたい。



問

スポーツ少年団と
中学校部活動の課題

教育長

指導者の担い手
確保に努めたい

問 スポーツ少年団の指導者確保と支援をどのように考えているのか。

教育長 平日の夕方に出役できる指導者数は足りない傾向にある。指導者資格取得に対して支援を行い、養成や資質向上を図っている。

これからも豊かなスポーツ環境づくりに努めたい。

問 「地域との連携による部活動運営」を進めることについて、どう考えているのか。

教育長 「部活動の地域移行」や「教職員の働き方改革」などにより部活動指導者の確保が大きな課題である。地域や関係機関、団体と連携を図りながら進め

ていきたい。

問 広報やホームページなどで指導者の募集や確保をしてはどうか。

教育長 連携をとりながら、少年団バンクのような形を検討していきたい。



吉野議員の一般質問を視聴できます